県建設業協会肝属支部会

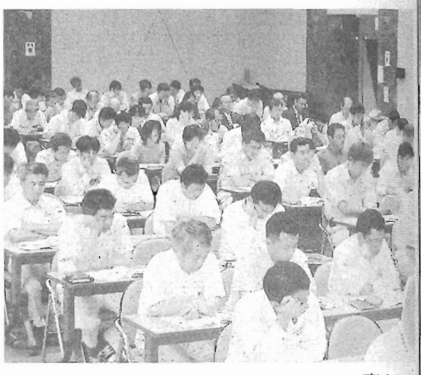
鹿屋市で国交省"出前講座"
電子入札への対応学ぶ

国土交通省・出前講座「いろいろな入札・契約方式」（県建設業協会肝属支部主催、㈱鹿児島建設新聞後援）は5日、鹿屋市の鹿屋商工会議所で九地整本局から講師を迎えて開催。地元建設業者ら約210人の出席者は、本格導入される電子入札や総合評価落札方式など新制度を学ぶと共に、質疑応答を行った。このような方式の催しが実施されたのは、本県では初めて。

出前講座では、主催者の原口優同協会肝属支部長が「建設業者にとってITは避けて通れない課題だ。国交省は直轄事業の電子入札を1年前倒しして15年度から全面実施する。時代に後れをとらないよう、企業の基盤づくりを確立、本日の研修を実のあるものにして頂きたい」と挨拶。

続いて、九地整大隅工事事務所の酒谷幸彦所長、県鹿屋土木事務所長の西原幸男所長が、県内の他地域に先駆けて行う出前講座に対し、来賓としての祝辞を寄せた。

この後、九地整企画部技術管理課の柴田智課長補佐が「多様な入札・契約方式・及びCALS／ECの現状」と題して講演。従来の価格競争の落札方式から、今後は技術評価を含む総合評価による業者選定の割合が高まると説明。



CALS／ECの説明に聴き入る参加者＝鹿屋市の鹿屋商工会議所で

また、電子入札は九地整管内で今年度、約200件を計画。コスト縮減効果も図られるが、システムの乱立による受注者コストの増大も懸念されることから、コアシステム利用の電子入札システム構築が必要だと強調した。更に、各地方公共団体が足並みを揃え、計画的にCALSを導入するよう要望した。

出席者からは、工事積算と実際の経費、工事完成書類の簡素化、道路交通規制など建設現場に直結した質問が出され、徳留忠大隅工事事務所技術副長が応答した。

最後に、㈱鹿児島建設新聞の宮之脇徹鹿屋支局長が、講師、出席者への謝意を込めて閉会の言葉を述べた。

丸栄建設・共栄会安全大会

三大災害の撲滅を

丸栄建設㈱（特留聖一社長）と丸栄建設共栄会（石川和治会長・共栄石油ガス㈱）は5日、鹿屋市の鹿屋商工会議所で14年度安全大会を開き、「決めたことを守り、実行させる安全衛生管理」を基本方針として、墜落・転落災害の防止、重機械・クレーン等災害の防止、崩壊・倒壊災害の防止を重点災害防止目標としてまい進することを誓い合った。

冒頭、特留社長が「6月1日に本社を新築オープンしました。今まで以上にスムーズな運営を図っていきたいと思います。好調な売上を維持できるのも安全があってこそです」と挨拶。続いて石川会長は「安全については用心に用心を重ねて日頃から注意していきましょう」と述べた。

続いて、優良安全協力会社と優良従業員の表彰があった後、瀬戸俊一㈲チャレンジスポーツマリンスタジオ社長が健康管理について体操をおり込みながら講話、山中正和丸栄建設㈱第1工事部長が10か条からなる「私たちの約束」と産廃について確認し、前之原操丸栄建設㈱第3工事部長が大会宣言を力強く宣言した。

健康と安全を誓った大会＝鹿屋商工会議所で

表彰企業は次の通り

優良安全協力会社＝池迫建築㈲セイユウ　水口量産業㈲岡崎電気　金秀アルミ㈱㈲室内装備たにぐち　東建築　下村工業　ミヨシ建装㈱　曽山工業　丸美建装

安全作業で社会的信頼を――と呼びかける福永社長＝加治木町の加音ホールで

福永建設・十日会安全大会

重大災害ゼロを継続

福永建設㈱（福永和則社長）と安全協力会十日会（岸野純一会長）は4日、姶良郡加治木町の加音ホールで14年度安全大会を開き、社員及び会員約130人が参加して重大災害ゼロの継続を誓い合った。

大会では福永社長が「当社では昭和54年の創業以来、重大事故は1件も発生していない。発展する会社より、安全作業を行える会社が、社会的な信頼を勝ち得る。14年度も皆さんの力で重大災害ゼロを継続してほしい」と挨拶。各種表彰の後、岸野会長（青嵐緑化㈱）が「安全管理においてさまざまな改善がなされたが、ヒューマンエラーだけは減少していない。本日は掘削作業も実施するが、草刈機の5㍍以内には近づかないなど、けがのないよう注意して作業していただきたい」と呼びかけた。

壽岐大介さんと池島清輝さんが「全員参加で快適な職場づくりに取り組む」と力強く宣言した後、寺師幸一常務のリードによる安全コールを全員で唱和し、大会は無事終了。大会終了後は全員で日木山川両岸と加治木港の清掃作業を実施し、草払いや汚起清掃に汗を流した。

また当日は大会に先駆けて大分県宇目町役場商工観光課の矢野大和課長補佐の講演もあり、お国言葉で繰り広げられる軽妙かつ深遠な内容に、参加者は時折笑いながらも真剣に聴き入っていた。

表彰者は次の通り。

優良事業所＝倉園商事㈱（倉園重夫）黒潮産業㈱（武津一郎）本吉原建築塗装（本吉原忠）▽優良従業員＝郡山美信（㈲カミヅル電気工事）小鍜智紀（㈱ヤマシタ）玉島秋利（福永建設㈱）酒井貴子（同）

アリマコーポレーション安全大会

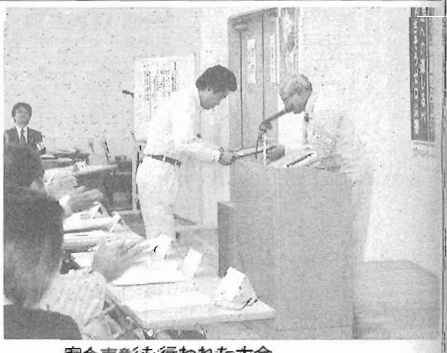
安全対策の自覚を

㈱アリマコーポレーション（有馬逸社長）は5日、鹿児島市新栄町の同社で14年度安全衛生大会を開き、社員や安全協力会社から約130人が参加して、今年度の労働災害ゼロの達成を誓い合った。

大会では、初めに種子田和幸安全衛生委員長が「13年度も皆様の協力で、無事故無災害で終えることができた。当社は現在、4万660時間の無事故を継続している。安全なくして、会社の繁栄はない。毎日毎日を大切に、一人ひとりが安全対策を目指し、危険防止に努めてほしい」と挨拶。

続いて、安全表彰を行った後、㈱トーセツの岩元和浩氏が「心温まる気持ちです。これからも安全には意識して頑張っていきます」と謝辞を述べた。

最後に遠矢喜量空調部長が「安全は、顧客満足への道しるべ、皆でめざそうゼロ災害」とスローガンを唱和した。



安全表彰も行われた大会＝鹿児島市の同社で

末永産業奉仕作業

小山田小側溝清掃や草払い

㈱末永産業（末永利文社長）はこのほど、鹿児島市の小山田小学校内の側溝清掃及び校舎裏の土手の草払いなどの奉仕作業に半日を掛け実施し、除草などでスッキリきれいになった現地を見て、学校関係者や児童らに誉ばれた。

奉仕作業は、梅雨時もあり学校の裏側の土手に雑草が生い茂っていることから、PTAなどにも要請があったがブロック積みの上の雑草除伐作業となり、危険が伴うことから同社が実施したもの。

この日は、草刈り機、スコップ、ホウキなどを持って集まった参加者を前に、末永社長が「法面での作業となるので安全にけがのないようにしていただきたい。また、奉仕の心と感謝の気持ちを込め作業を行ってほしい。また、作業ではけがのないよう十分に気をつけて安全作業を」と挨拶した後、作業を開始。校舎裏の土手にうっそうと繁った雑木及び雑草など、手際よく刈り取る姿に職員らが感謝して見入る姿もあった。

幸福俊範営業部長は「人に誉ばれたことでやり甲斐もあり、きれいになったことで心も晴れ晴れしました」と語った。

児童らに誉ばれた奉仕作業＝鹿児島市の小山田小学校内で

無災害に取り組み、顧客満足を目指そう」と安全決議を読み上げた。

安全表彰者は次の通り。

㈱トーセツ　二宮工業